

私立大学図書館協会 2023 年度第 1 回東地区部会役員会
議事要録

日 時：2023 年 4 月 21 日（金）14：00 ～ 15：33

会 場：帝京大学（Web 会議 Zoom）

出席校：会長校 明治学院大学（鈴木、榎本）
部会長校 帝京大学（杉浦、山下、川北、三谷、山内）
研究部担当理事校 専修大学（飯泉、野村、水本）
分科会更新・会報・月例担当理事校 国立音楽大学（柄田、森岡）
理事校（前研究部担当理事校） 立正大学（島田）
地区ブロック選出理事校 北海学園大学（河井）
監事校 成蹊大学（細本、杉谷、小野）

※敬称略

配付資料：

- ・私立大学図書館協会 2023 年度第 1 回東地区部会役員会（以下「役員会資料」と記載）
- ・資料 1-1 私立大学図書館協会 2023 年度第 1 回常任幹事会資料
- ・資料 1-2 「私立大学図書館協会会則」第 12 条の改正について（提案）
- ・資料 2 「私立大学図書館協会東地区部会研究部細則」の一部改正（案）
- ・資料 3 私立大学図書館協会東地区部会歴代役員校一覧
- ・参考資料 私立大学図書館協会組織図

議事に先立ち、部会長校帝京大学メディアライブラリーセンター副館長の挨拶の後、出席者の自己紹介が行われた。

議事進行は、帝京大学メディアライブラリーセンター副館長杉浦史和が担当した。

議事：

[報告事項]

1. 東地区部会関係

- ・2022 年度東地区部会会務報告（2022 年 4 月～2023 年 3 月）

部会長校帝京大学より、役員会資料（p.4-8）に基づき報告があった。

総会をはじめ会議等は Web 会議やメール会議で実施され、昨年中止となった館長会は講演形式で行ったとの説明があった。

- ・2022 年度東地区部会研究部活動報告（2022 年 4 月～2023 年 3 月）

研究部担当理事校専修大学より、役員会資料（p.8-11）に基づき報告があった。

研修体制を見直し、大きく 3 つの研修体制（初任者研修、PB 研修、スキルアップ研修）を

2022 年度より開始しており、実施にあたっては大学図書館支援機構に業務委託しているとの説明があった。

2. 協会関係

・2023 年度第 1 回常任幹事会報告

会長校明治学院大学より、2023 年 4 月 14 日（金）に開催された第 1 回常任幹事会について、資料 1-1 に基づき報告があった。協議事項の「私立大学図書館協会会則」第 7 条の改正については、最終的に総会の承認によって改正を進めていくとの説明があった。

続いて、資料 1-2 に基づき「私立大学図書館協会会則」第 12 条の理事校数改正について A 案（東地区部会の理事校数のみを 5 校にする）で進める方向で意向がまとまったため、次回の東西合同役員会で確認をいただく流れになるとの説明があった。

[協議事項]

1. 2022 年度東地区部会事業報告について

部会長校帝京大学より、役員会資料（p.13-14）に基づき報告があり、承認された。

2. 2022 年度東地区部会決算報告および監査報告について

部会長校帝京大学より、役員会資料（p.15）に基づき決算報告があった。監事校國學院大学の監査を受け適正であると認められたとの報告があり、承認された。

3. 2022 年度東地区部会研究部決算報告および監査報告について

研究部担当理事校専修大学より、役員会資料（p.16）に基づき決算報告があった。続いて、前部会長校成蹊大学より、研究部の予算運用管理および決算報告書類に関して、監事校國學院大学より意見があったとの報告がなされた。

監事校國學院大学の監査を受け適正であると認められたとの報告があり、承認された。

4. 2023 年度東地区部会事業計画（案）および予算（案）について

部会長校帝京大学より、役員会資料（p.17-18）に基づき以下の説明があり、事業計画（案）、予算（案）ともに承認された。

【事業計画（案）】

- ・オンラインやオンデマンド、メール会議等を活用し持続可能な活動の検討および業務のスリム化を進めていくことを計画している。
- ・第 1 回役員会事務連絡会は、東地区部会総会をメール会議で開催するため中止とする。
- ・役員会について、2023 年 4 月 5 日（水）～7 日（金）で臨時役員会をメール会議で開催した。また、2024 年 1 月 26 日（金）開催予定の第 2 回役員会の開催方法について、これまでの資料では確定していなかったが Web 会議とする。

【予算（案）】

＜収入の部＞

- ・協会交付金は、269校分 3,497,000 円。雑収入と前年度繰越金を加えて 2023 年度の総予算は、14,581,894 円。

＜支出の部＞

- ・役員校活動費交付金は、会長校が東地区のため減額となった。
- ・管理職研修費は、研修は隔年開催のため今年度は計上なし。
- ・印刷費は、部会総会がメール会議のため減額とした。

5. 2023 年度東地区部会研究部活動計画（案）および予算（案）について

研究部担当理事校専修大学より、役員会資料（p.19-20）に基づき以下の説明があり、事業計画（案）、予算（案）ともに承認された。

【研究部活動計画（案）】

- ・研修会活動は委託業者に依頼。昨年度から開始した 3 つの研修体制を実施予定。スキルアップ研修については、3 コース増やし全 6 コースとする。

【予算（案）】

＜収入の部＞

- ・部会交付金と雑収入を合わせて 4,802,000 円を収入とする。

＜支出の部＞

- ・運営委員会費は、今年度より Microsoft365 等の契約を進める予定のため、100,000 円増額とした。

6. 2023～2024 年度東地区部会研究部運営委員および 2023 年度研修委員について

研究部担当理事校専修大学より、役員会資料（p.21）に基づき説明があり、承認された。

7. 2023 年度東地区部会総会・館長会・研究講演会の開催（案）について

部会長校帝京大学および研究部担当理事校専修大学より、役員会資料（p.22-24）に基づき以下の説明があり、承認された。

＜部会総会＞

前年度同様メール会議と Web 入力フォームを活用した個別回答形式により実施する。

＜第 1 回役員会事務連絡会＞

事業計画（案）で説明のとおり中止とする。

＜館長会＞

2023 年 6 月 9 日（金）10 時 00 分～11 時 00 分、Zoom にて開催予定。テーマは「これからの大学図書館を考える（仮）」として講演を行い、その後意見交換を実施予定。

<研究講演会>

2023年6月9日(金)13時30分～16時30分、前年度同様オンライン・オンデマンド形式併用としてオンラインで講演会を開催し、講演会を録画・編集し、期間限定で配信予定。テーマは「アフターコロナの大学図書館－電子図書館とデジタルアーカイブ(仮)」として2名の講演を行う予定。

8. 理事校担当名称の変更(案)について

研究部担当理事校専修大学より、役員会資料(p.25)に基づき、2023-2024年度から「理事校 分科会更新・会報担当」「理事校 分科会月例担当」の担当業務を統合し、「理事校 分科会更新・会報・月例担当」としているが、実際には分科会の活動はなく更新・月例業務は発生していないため、この担当名称を実態に即した「理事校研修・会報担当」に変更したい旨の説明があった。さらに、前研究部担当理事校立正大学より、本件は理事校業務のスリム化の経緯をもって前任校から進められてきた案件であるとの補足説明があり、承認された。

9. 「私立大学図書館協会東地区部会研究部細則」の一部改正(案)について

研究部担当理事校専修大学より、2023年4月15日(土)～18日(火)にメール会議にて研究部臨時運営委員会が開催された旨の報告があった。資料2に基づき、業務の変更に伴い実態に即した内容および業務の流れに即した記載となるよう条項を入れ替えた細則の一部改正(案)についての説明があり、承認された。

[懇談事項]

1. 東地区部会役員校、総会当番校の選出について

部会長校帝京大学より、資料3に基づき、2025-2026年度地区ブロック選出理事校は東北ブロックからの選出予定となっているがまだ決まっていないため、候補校について紹介だけ、もしくは情報をお持ちの場合はご協力いただきたいとの依頼があった。また、理事校数については、東西合同役員会および総会で承認された際には6校から5校に減らして活動を行う予定だが、こちらもまだ候補校が決まっていないため同様にご協力いただきたいこと、さらに、2027-2028年度総会当番校は東地区部会からの選出となるため候補校のご検討をいただきたいことの依頼があった。

2. その他

地区ブロック選出理事校北海学園大学より、9月1日(金)研究大会のスケジュールについて確認があった。これに対し、会長校明治学院大学より、資料1-1(p.29 6.日程一覧)に基づき、大きな変更は予定していない旨の回答があった。

以上